



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月7日

上場会社名 株式会社中村屋 上場取引所 東
 コード番号 2204 URL <https://www.nakamuraya.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 島田 裕之
 問合せ先責任者（役職名） 取締役兼執行役員（氏名） 弘中 雅裕（TEL）03-5325-2733
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,660	0.4	△1,144	—	△1,117	—	△711	—
2025年3月期第1四半期	5,637	3.0	△966	—	△951	—	△649	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第1四半期	円 銭 △123.14	円 銭 —
2025年3月期第1四半期	円 銭 △111.82	円 銭 —

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第1四半期	百万円 42,349	百万円 26,116	% 61.7
2025年3月期	43,509	27,038	62.1

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 26,116百万円 2025年3月期 27,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 70.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,750	0.3	△2,240	—	△2,150	—	△1,510	—	△264.41
通期	37,700	1.2	660	△38.3	860	△32.7	520	△41.2	90.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	5,976,205株	2025年3月期	5,976,205株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	200,014株	2025年3月期	199,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	5,776,242株	2025年3月期1Q	5,806,887株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期損益計算書関係)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復が見られたものの、物価上昇による節約志向の高まり、継続する原材料価格の高騰、米国の通商政策や中東情勢の緊迫化の影響など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は経営理念「真の価値を追求し、その喜びを分かち合う」の実現を目指し、「中期経営計画—中村屋2027ビジョン—」の基本方針「理念経営の実践」「バリューチェーン・インフラの再構築」「ブランド・人材育成への投資」「『くらしに溶け込む食』による価値創造」に沿い、目標達成に取り組んできました。その結果、当第1四半期累計期間の売上高は、5,659,721千円 前年同期に対し22,424千円、0.4%の増収となりました。

利益面につきましては、神奈川工場の一部閉鎖に伴う、固定資産の耐用年数の短縮及び基幹システムの更新による一時的な費用増加の影響により、営業損失は1,143,523千円 前年同期に対し177,812千円の減益、経常損失は1,117,333千円 前年同期に対し165,896千円の減益、四半期純損失は711,295千円 前年同期に対し61,973千円の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 菓子事業

菓子類では、パックデザート「夏あつめ」を新発売し、土産需要への対応と、「水つるわらび餅」を発売し、自家需要に対応するとともに、主力商品の品質改良を実施しました。また、「チーズケーキ&ティラミス」を新発売し、カジュアルギフトへの取組みを強化しました。自家用菓子では、素材や製法にこだわった和菓子シリーズのどら焼類のリニューアルを実施し、「逸品どら焼」を中心としたどら焼類の拡販と併せて、「逸品カステラ」の拡販に努めました。

中華まんじゅう類は、量販店販路に展開している中華まんをお客様の用途・ニーズに合わせて春夏時期における継続販売を強化しました。店頭でお客様の目を引く商品として、「辛肉まん」を発売しました。また、一部店舗の店頭で試食販売を行い、春夏の需要喚起に取り組みました。コンビニエンスストア販路向け中華まんは、一部店舗において「肉まん」「あんまん」「ピザまん」「豚まん」の販売を継続するとともに、8月下旬の改良発売に向けて商品の企画開発、取引先商社への提案を推進しました。

新宿中村屋ビル「スイーツ&デリカBonna(ボンナ)」では、「できたて」や「手づくり」といったお客様のニーズに合わせて、「サンド月餅」の実演販売、「窯出しフィナンシェ」、「新宿カーパン」の揚げたて販売を実施したことが増収につながりました。

以上のような営業活動を行いました。前年に閉鎖した店舗の売上減少等により、菓子事業全体の売上高は3,026,647千円、前年同期に対し91,782千円、2.9%の減収となり、営業損失は907,392千円、前年同期に対し151,467千円の減益となりました。

② 食品事業

市販食品では、「THE濃厚」シリーズの新商品を2月に発売し、シリーズのバラエティを強化するとともに、コンビニエンスストアを中心に導入を図りました。また、純インド式カレーの発売日を記念した販促キャンペーンを企画し、主力商品である「インドカレー」シリーズの拡販に努めました。麻婆豆腐においても食イベントに積極的に出展し、認知拡大の取組みを推進いたしました。

業務用食品では、引き続き飲食需要の回復への対応と中食販路への積極的な提案活動を実施し、大幅な増収を図りました。コンビニエンスストア販路向けカレーにおいては、お取引先様の大型販促にバリューチェーン一体で商品供給に対応し、食数増加による拡販を果たしました。また、カフェチェーン販路にてフェアメニューを獲得し売上を拡大するなど、中食と併せて外食販路での拡販に努めました。

新宿中村屋ビル「レストラン&カフェManna(マンナ)」では「インドカレーの日」に合わせて「白米のチキンピリヤニ」を新発売、また、季節メニューを定期的に販売する事で増収となりました。「カジュアルダイニングGranna(グランナ)」では各国料理と日本ワインをテーマとした賞味会を定期的に実施し増収につながりました。直営レストラン「オリーブハウス」ではお客様ニーズに対応したメニューを販売し新規顧客の開拓に努めました。

以上のような営業活動を行った結果、食品事業全体の売上高は2,408,007千円、前年同期に対し126,770千円、

5.6%の増収となり、営業利益は277,126千円、前年同期に対し14,327千円の増益となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、商業ビル「新宿中村屋ビル」において快適で賑わいのある商業空間の提供に努め、満床稼働の維持につなげました。また、武蔵工場敷地の一部賃貸及び旧東京事業所跡地の賃貸による地代収入により、安定した売上を確保しました。

以上のような営業活動を行いました。一部店舗の賃料減免の影響により、売上高は225,067千円、前年同期に対し12,565千円、5.3%の減収となり、営業利益は103,947千円、前年同期に対し23,152千円の減益となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、土地の増加1,422,355千円、商品及び製品の増加480,362千円等がありましたが、売掛金の減少1,928,213千円、現預金の減少1,366,753千円等により、前事業年度末に比べ1,159,730千円減少し、42,349,223千円となりました。

負債は、短期借入金の増加1,400,000千円等がありましたが、賞与引当金の減少412,308千円、未払金の減少318,425千円、繰延税金負債の減少234,259千円、退職給付引当金の減少188,209千円、買掛金の減少181,271千円、資産除去債務の減少146,607千円等により、前事業年度末に比べ237,565千円減少し、16,233,440千円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加193,810千円等がありましたが、四半期純損失711,295千円、剰余金の配当404,341千円による利益剰余金の減少等により、前事業年度末に比べ922,165千円減少し、26,115,782千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ、1,366,754千円減少し、1,248,913千円となりました。

区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、607,347千円の支出（前年同期は913,850千円の支出）となりました。これは主に、売上債権の減少額1,928,213千円等があったものの、税引前四半期純損失△1,026,572千円、棚卸資産の増加額△572,586千円、賞与引当金の減少額△412,308千円、未払金の減少額△340,462千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,772,640千円の支出（前年同期は159,625千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出△1,631,336千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,013,243千円の収入（前年同期は1,165,713千円の収入）となりました。これは主に、配当金の支払額△363,197千円等があったものの、短期借入金の純増加額1,400,000千円等があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予測につきましては、2025年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,616,883	1,250,130
売掛金	4,368,594	2,440,381
商品及び製品	1,448,739	1,929,101
仕掛品	44,127	41,644
原材料及び貯蔵品	2,147,662	2,242,369
その他	576,334	588,898
流動資産合計	11,202,339	8,492,523
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,332,274	7,111,494
構築物(純額)	643,621	627,889
機械及び装置(純額)	2,066,271	2,073,815
車両運搬具(純額)	978	916
工具、器具及び備品(純額)	206,009	195,822
土地	13,072,558	14,494,913
リース資産(純額)	966,694	900,977
建設仮勘定	86,969	98,447
有形固定資産合計	24,375,373	25,504,273
無形固定資産		
その他	255,530	411,796
無形固定資産合計	255,530	411,796
投資その他の資産		
投資有価証券	6,529,882	6,817,071
関係会社株式	536,056	536,056
前払年金費用	—	13,669
その他	611,403	575,465
貸倒引当金	△1,631	△1,631
投資その他の資産合計	7,675,710	7,940,632
固定資産合計	32,306,614	33,856,700
資産合計	43,508,953	42,349,223

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,234,747	1,053,476
短期借入金	—	1,400,000
リース債務	91,944	89,111
未払金	1,357,747	1,039,322
未払費用	486,192	591,633
未払法人税等	43,745	24,713
賞与引当金	696,810	284,502
その他	564,182	425,509
流動負債合計	4,475,367	4,908,265
固定負債		
リース債務	403,101	382,706
繰延税金負債	3,713,084	3,478,825
退職給付引当金	555,552	367,342
資産除去債務	254,002	107,395
長期前受収益	6,538,734	6,457,764
受入保証金	531,166	531,143
固定負債合計	11,995,638	11,325,175
負債合計	16,471,006	16,233,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,469,402	7,469,402
資本剰余金		
資本準備金	6,410,455	6,410,455
その他資本剰余金	1,688,664	1,688,664
資本剰余金合計	8,099,120	8,099,120
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	3,072,570	3,054,109
別途積立金	5,204,932	5,204,932
繰越利益剰余金	1,044,323	△52,852
利益剰余金合計	9,321,826	8,206,189
自己株式	△645,906	△646,244
株主資本合計	24,244,442	23,128,467
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,793,506	2,987,315
評価・換算差額等合計	2,793,506	2,987,315
純資産合計	27,037,947	26,115,782
負債純資産合計	43,508,953	42,349,223

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	5,637,297	5,659,721
売上原価	4,059,172	4,190,824
売上総利益	1,578,125	1,468,897
販売費及び一般管理費		
販売費	1,944,152	1,995,215
一般管理費	599,685	617,205
販売費及び一般管理費合計	2,543,836	2,612,420
営業損失(△)	△965,711	△1,143,523
営業外収益		
受取配当金	10,782	17,690
受取保険金	5,385	4,974
その他	9,007	5,518
営業外収益合計	25,173	28,182
営業外費用		
支払利息	3,671	879
為替差損	7	697
控除対象外消費税等	6,959	—
その他	262	416
営業外費用合計	10,899	1,992
経常損失(△)	△951,437	△1,117,333
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	93,185
特別利益合計	—	93,185
特別損失		
固定資産除却損	1,795	0
減損損失	2,178	2,425
特別損失合計	3,973	2,425
税引前四半期純損失(△)	△955,409	△1,026,572
法人税、住民税及び事業税	△5,899	8,171
法人税等調整額	△300,188	△323,448
法人税等合計	△306,087	△315,277
四半期純損失(△)	△649,322	△711,295

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△955,409	△1,026,572
減価償却費	369,024	436,755
減損損失	2,178	2,425
資産除去債務戻入益	—	△93,185
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△575,955	△412,308
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△152,150	△188,209
前払年金費用の増減額 (△は増加)	—	△13,669
受取利息及び受取配当金	△10,782	△17,690
支払利息	3,671	879
為替差損益 (△は益)	7	697
有形固定資産除却損	1,795	0
売上債権の増減額 (△は増加)	2,270,098	1,928,213
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△847,540	△572,586
仕入債務の増減額 (△は減少)	△314,054	△181,271
未払金の増減額 (△は減少)	△287,286	△340,462
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△181,931	△130,116
前受収益の増減額 (△は減少)	△74,651	△50,621
長期前受収益の増減額 (△は減少)	△80,970	△80,970
その他	45,800	67,814
小計	△788,157	△670,879
利息及び配当金の受取額	82,480	75,847
利息の支払額	△3,586	△879
法人税等の支払額	△204,588	△11,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	△913,850	△607,347
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	928	—
有形固定資産の取得による支出	△146,500	△1,631,336
無形固定資産の取得による支出	△9,429	△165,751
投資有価証券の取得による支出	△3,891	△4,191
投融資による支出	△1,311	△54
投融資の回収による収入	578	28,692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,625	△1,772,640
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,500,000	1,400,000
リース債務の返済による支出	△22,593	△23,221
自己株式の取得による支出	△175	△339
配当金の支払額	△311,519	△363,197
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,165,713	1,013,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	92,256	△1,366,754
現金及び現金同等物の期首残高	1,136,514	2,615,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,228,770	1,248,913

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

業績の季節的変動

当社の売上高は、主力商品の特性から冬季に需要が高く、第1四半期を含む上半期(4月～9月)と下半期(10月～3月)の業績に季節的変動が生じております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又はサービス	3,118,429	2,281,237	—	5,399,665
顧客との契約から生じる収益	3,118,429	2,281,237	—	5,399,665
その他の収益	—	—	237,632	237,632
外部顧客への売上高	3,118,429	2,281,237	237,632	5,637,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,118,429	2,281,237	237,632	5,637,297
セグメント利益又は損失(△)	△755,925	262,799	127,099	△366,027

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△366,027
全社費用(注)	△599,685
四半期損益計算書の営業損失(△)	△965,711

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「食品事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期累計期間において2,178千円であります。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又はサービス	3,026,647	2,408,007	—	5,434,654
顧客との契約から生じる収益	3,026,647	2,408,007	—	5,434,654
その他の収益	—	—	225,067	225,067
外部顧客への売上高	3,026,647	2,408,007	225,067	5,659,721
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,026,647	2,408,007	225,067	5,659,721
セグメント利益又は損失(△)	△907,392	277,126	103,947	△526,318

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△526,318
全社費用(注)	△617,205
四半期損益計算書の営業損失(△)	△1,143,523

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「食品事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期累計期間において2,425千円であります。